

も



も

もんぜん
の

こそだ
子育て
じぞう
地蔵

そうふく
崇福寺

崇福寺

崇福寺（臨濟宗）は、伝承によると戦国時代に村民太郎右衛門という人がつくったといわれていますが、江戸時代に火災にあっているの、詳しいことはわかりません。

門前の右側には、文久元年（一八六一）につくられた子育て地蔵があります。愛児をだきしめた母親の姿は、子供を思う親の情愛をひしひしと感じさせます。

このお地蔵さまは隠れキリシタンの遺物ともいわれますが、それを証明する資料は、まだ発見されていません。

も